

【様式 1 添付】

管理ツール操作マニュアル

第 1 版

令和 5 年 1 2 月
川崎市健康福祉局

目次

1. はじめに	1
2. 管理ツール利用の流れ	2
3. 管理ツールを開くにあたって	3
3.1 ファイルのセキュリティ解除.....	3
3.2 管理ツールで情報が検索できない場合	4
4. 管理ツールの使い方	5
4.1 対象者の情報から優先度の表示.....	5
4.1.1 入力・検索シートを使う場合.....	5
4.1.2 対象者管理表を使う場合	10
4.2 マクロブロックが解除できない場合	11
4.2.1 非表示シートの再表示	11
4.2.2 対象者情報の手動検索（住居番号までの検索）	12
4.2.3 対象者情報の手動検索（街区番号までの検索）	14
4.3 優先度別スケジュール管理表.....	15
5. その他注意事項	17

1. はじめに

「災害時個別避難計画の作成対象者管理ツール」（以下、「管理ツール」という。）は、川崎市において、要支援者の個別避難計画を作成する際、作成支援者へのサポートツールとして、

- ① 要支援者の災害危険性（自動または手動）の検索
- ② 指定緊急避難場所（1箇所）と、最寄りの指定緊急避難場所（2箇所）の検索
- ③ 要支援者の基本情報、本人・世帯の状況、住居の状況と①より、個別避難計画作成の優先度を表示
- ④ ③の情報を優先度順に整理し、事業所ごとの個別避難計画の作成・管理計画を補助

を行うツール（エクセルファイル）となっています。

ご使用されているパソコンの状態（主にエクセルのマクロブロック）により、①、②、④が自動で検索できないこともあります。その場合はエクセルファイル内にあるリストから手動で検索し、③において優先度を検索することが可能です。

また、①、②は要支援者の住所より検索しますが、「住居表示が未実施である」、「新（または旧）住所である」などの理由により、一部、正確性に問題がある場合があります。

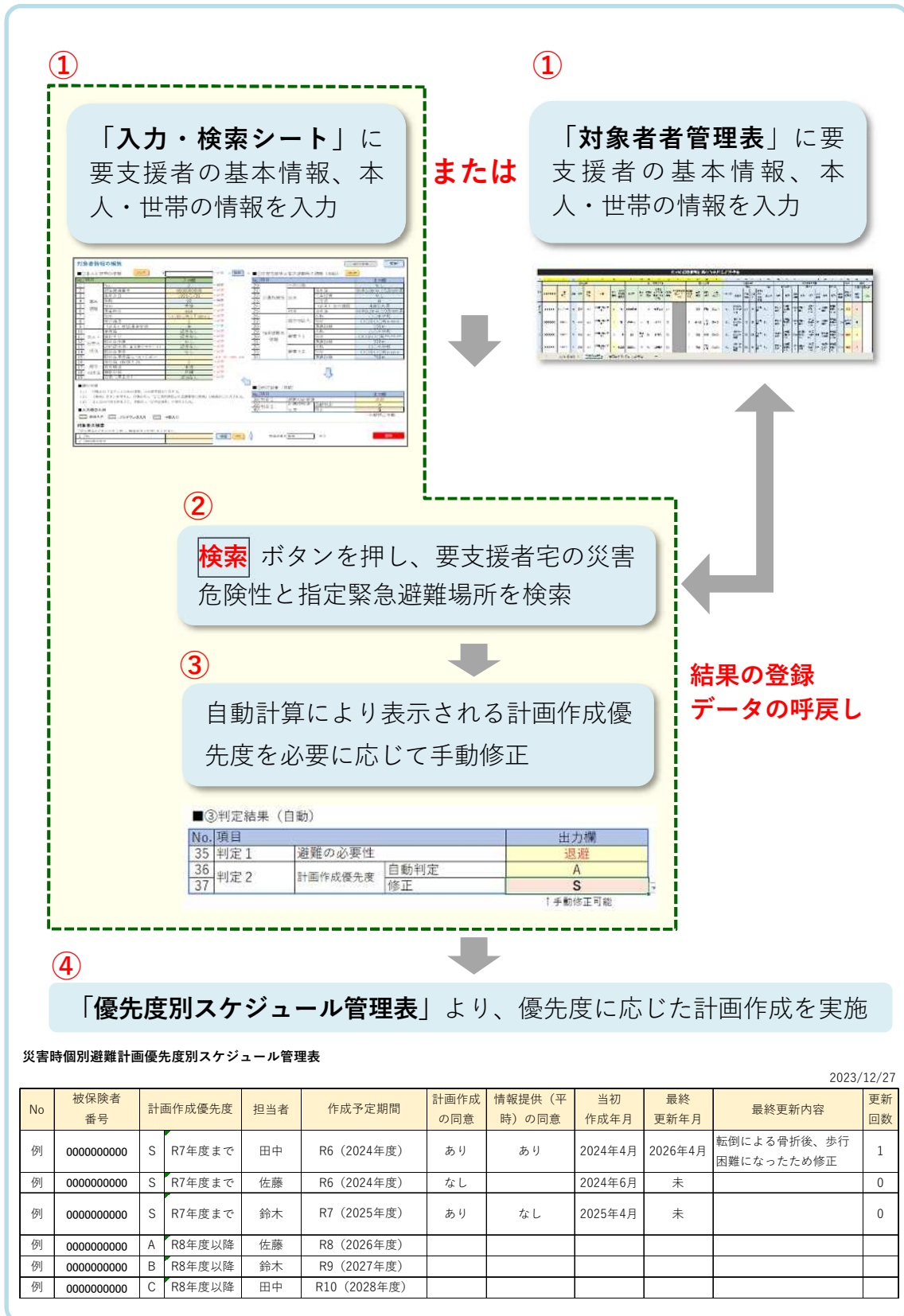
管理ツールの情報が絶対的な情報ではありませんので、検索後にはハザードマップを直接ご確認ください。

また、②においては、最寄りの指定緊急避難場所への距離が示されますが、要支援者宅と指定緊急避難場所の2点間を結ぶ直線距離となっておりますので、実際には表示される距離より長い距離を移動して避難することを念頭に置いてご検討いただきたいと思います。

管理ツールが個別避難計画作成支援者の皆様にとって、役に立つツールとなることを願っております。

2. 管理ツール利用の流れ

管理ツールの利用の流れは次のとおりです。



3. 管理ツールを開くにあたって

3.1 ファイルのセキュリティ解除

管理ツールのセキュリティを解除するため、ファイルを開く前に次の操作を行います。

右クリック

- ① ファイルを右クリック
- ② プロパティをクリック
- ③ 「全般」の「セキュリティ」で「許可する」にチェック
- ④ 「適用」
- ⑤ 「OK」

01_管理ツール_川崎市_Ver1.0.1_20231026.xlsm

切り取り(T)
コピー(C)
ショートカットの作成(S)
削除(D)
名前の変更(M)
② プロパティ(R)

01_管理ツール_川崎市_Ver1.0.1_20231026.xlsmのプロパティ

全般 セキュリティ 詳細 以前のバージョン

01_管理ツール_川崎市_Ver1.0.1_20231026.xlsm

ファイルの種類: Microsoft Excel マクロ有効ワークシート (.xlsm)
プログラム: Excel
場所: C:\Users\jce\Desktop\簡易ツール簡易版
サイズ: 2.84 MB (2,983,465 バイト)
ディスク上のサイズ: 2.85 MB (2,990,080 バイト)
作成日時: 2023年10月31日、11:47:14
更新日時: 2023年10月31日、11:45:53
アクセス日時: 2023年10月31日、11:47:14

属性: 読み取り専用(R) 隠しファイル(H) 詳細設定(D)...

セキュリティ: このファイルは他のコンピューターから取得したものです。このコンピューターを保護するため、このファイルへのアクセスはブロックされる可能性があります。
 許可する(K)

⑤ OK キャンセル ④ 適用(A)



注意

セキュリティの解除をせずファイルを開いた場合

セキュリティの許可をせずファイルを開いた場合は、次のような赤いバーのメッセージが表示され、自動検索機能を使用できません。

セキュリティリスク このファイルのソースが信頼できないため、Microsoft によりマクロの実行がブロックされました。 [詳細を表示](#)

👉 セキュリティの解除でファイルがスムーズに開いた場合は「4.管理ツールの使い方 (p.5)」へ移動してください。

3.2 管理ツールで情報が検索できない場合

管理ツールで情報が検索できない場合は、Microsoft のセキュリティ対策によりマクロの実行がブロックされている可能性があります。また検索対象の住所に問題がある場合が考えられますので、問題のケースに応じて次の設定を行ってください。

No	問題	対処	手順
1	マクロが実行できない（エラーが出ない場合）	警告を表示させて有効にできるようにする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理ツールのファイルを開く 2. 「ファイル」から「オプション」を開く 3. 「トラストセンター」をクリックして「警告を表示してマクロを無効にする」をクリック 4. 全て「OK」で設定を閉じる
2	Microsoft によりマクロの実行がブロックされ、手順に示す「許可」ボタンがない	管理ツールの保存場所を「信頼できる場所」に設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理ツールのファイルを開く 2. 「ファイル」から「オプション」を開く 3. 「トラストセンター」をクリックして「トラストセンターの設定」をクリック 4. 「信頼できる場所」をクリックして「新しい場所の追加」をクリック 5. 「パス」の欄に、デスクトップの場所を記載（「参照」をクリックして「デスクトップ」を選択、「OK」する） 6. 全て「OK」で設定を閉じる
3	管理ツールで「検索」ボタンを押すと「データが存在しません」と表示される	<ol style="list-style-type: none"> ① 住所を入力規則に従って入力する ② (①で解決されない場合) 川崎市ハザードマップ（洪水・土砂災害・内水）で調べる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 6 ページの住所入力規則に従って、入力のかたを修正する ② 管理ツールではなく、川崎市ハザードマップ（洪水・土砂災害・内水）で災害危険性や指定緊急避難場所を確認する <p>※ 対象者宅の住所が以下である場合は、管理ツールが使用できません</p> <ul style="list-style-type: none"> ➔ 新規に設定された住所、あるいは旧住所 ➔ データ上で詳細な位置が特定できない住所

なお、どうしてもマクロブロックが解除できない場合は「4.2 マクロブロックが解除できない場合 (p.11)」を参照し、手動で検索を行います。

4. 管理ツールの使い方

4.1 対象者の情報から優先度の表示

4.1.1 入力・検索シートを使う場合

入力・検索シートの概要

- 入力・検索シートは、対象者ごとに情報を入力して検索し、計画作成優先度などの結果を確認するためのシートです。
- 左列（緑色欄）に対象者1人1人の基礎情報を入力後、検索ボタンを押すことにより、右列（青色欄）に災害危険性と指定緊急避難場所、避難の必要性、個別避難計画作成の優先度が自動的に表示されます。

基礎情報の入力
➔
災害危険性、指定緊急避難場所の表示

対象者の新規登録

No.	項目	入力欄	入力種別
1	No.	5	自動
2	被保険者番号	0000000000	必須
3	生年月日	1931/1/31	必須
4	年齢	92	自動
5	性別	男性	必須
6	事業所名	aaa	必須
7	住所	〇〇区〇町1丁目xx-1	必須
8	要介護度	3	必須
9	(要介護)要介護者登録	有	必須
10	本人・世帯の特別な事情	該当なし	必須
11	特別な事情	該当なし	必須
12	認知症(特等・會員会や大きい方)	なし	必須
13	その他特別な事情	なし	必須
14	その他特別な事情等についてコメント		14文字(要)の場合、必須
15	居住の状況	2	必須
16	自宅構造	木造	必須
17	建物分類	戸建	必須
18	立地(崖上か)	該当なし	必須

■操作手順
 (1)：対象者の「①本人と世帯の情報」の必須項目を入力する。
 (2)：「検索」ボタンを押すと、対象者の「②災害危険性と指定緊急避難場所の情報」が自動的に入力される。
 (3)：①と②の内容を踏まえて、自動的に「③判定結果」が表示される。

■入力欄の凡例
 ：直接入力
 ：プルダウン式入力
 ：自動入力

対象者の検索
 下記の項目のどちらかを入力し、検索ボタンを押してください。

1	No.		検索	クリア	➔	検索結果を	印刷	する
2	被保険者番号							

No.	項目	土砂災害	出力欄
20			なし
21			なし
22	災害危険性	洪水	浸水深 洪水3.0m以上5.0m未満
23			河床侵食 なし
24			泥崩流 有
25			(幸否)浸水継続時 4週間未満
26	内水	浸水深	内水0.2m以上0.5m未満
27		居住地区内	名称 〇〇小学校
28		住所 〇〇区〇町x-xx-1	
29	指定緊急避難場所	直線距離	589m
30		最寄り1	名称 △△中学校
31			住所 〇〇区△△z-z-2
32		直線距離	847m
33	最寄り2	名称 □□小学校	
34		住所 〇〇区□□町**-13	
		直線距離	893m

③判定結果(自動)

No.	項目	避難の必要性	出力欄
35	判定1	避難の必要性	退避
36	判定2	計画作成優先度	自動判定 A
37		変更	修正 S

「手動修正可能」

削除

災害危険性から「退避※1」／「自宅待機可※2」が自動で判定されます。

各判定結果から個別避難計画の作成優先度が表示されます。
S → A → B → C
 優先度高 優先度低
 ※優先度ランクについては p.9 参照

ケアマネジャーの判断によって、最終的な優先度を変更できます。

項目別凡例
 ：直接入力
 ：プルダウン式入力
 ：自動入力

入力・検索シートの使い方

- 入力・検索シートの中央下部の**クリアボタン**（下図①）を押し、あらかじめ入力されていたデータを消去します。
 - 「①本人と世帯の情報」を入力します。
この際、住所の入力規則は次のとおりです。
検索可能：〇〇区〇〇町〇丁目△番地□号（全角半角区別なし）
検索可能：〇〇区〇〇町〇-△-□（全角半角区別なし）
検索**不可**：〇〇区〇〇町〇の△の□
 - 入力・検索シートの中央上部の**検索ボタン**（下図③）を押します。
 - 入力・検索シートの②③（No.20～No.35 まで）に情報が自動で表示されます。
（表示までにタイムラグと画面の乱れがあります）
- ※ 入力・検索シートで検索・表示された結果は、登録ボタンを押すことで対象者管理表に自動で整理されます。
- ※ 入力・検索シートの各入力項目の詳しい解説は次頁以降を参照してください。

③検索ボタンを押す

②情報を入力する

④検索結果が表示される

①クリアボタンを押す

対象者の新規登録

■①本人と世帯の情報

No.	項目	入力欄	入力例	必須
1	No.	5		必須
2	被保険者番号	0000000000		必須
3	生年月日	1931/1/31		必須
4	年齢	92		必須
5	性別	男性		必須
6	事業所名	aaa		任意
7	住所	〇〇区〇〇町1丁目xx-1		必須
8	要介護度	3		必須
9	(任意) 要介護費支拂	有		任意
10	車身号			必須
11	本人・世帯の			必須
12	得別な医療	該当なし		必須
13	認知症(初発・発見書で大きい方)	該当なし		必須
14	その他特別な事情	該当なし		必須
15	その他特別な事情等についてコメント			任意
16	居住の			必須
17	自宅構造	木造		必須
18	運物分類	戸建		必須
19	立地(屋上か)			必須

■②災害危険性と指定緊急避難所の情報(自動)

No.	項目	出力欄	出力例
20	土砂災害		なし
21	災害危険性	洪水	洪水3.0m以上5.0m未満
22		沿岸浸食	なし
23		氾濫流	有
24	内水	(任意) 洪水継続時	4週間未満
25		洪水深	内水0.2m以上0.5m未満
26	居住地区内	名称	〇〇小学校
27		住所	〇〇区〇〇町xx-xx-1
28	指定緊急避難場所	直線距離	585m
29		名称	△△中学校
30	最寄り1	住所	〇〇区△△z-z-2
31		直線距離	847m
32	最寄り2	名称	□□小学校
33		住所	〇〇区□□町**-13
34	直線距離	893m	

■③判定結果(自動)

No.	項目	避難の必要性	出力欄
35	判定1		退避
36	判定2	計画作成優先	A
37		修正	S

対象者の検索

下記の項目のどちらかを入力し、検索ボタンを押してください。

No.	項目	検索	クリア
1	No.		
2	被保険者番号		

各入力項目の解説

- 「①本人と世帯の情報」入力後に、右側の検索ボタンを押すと、「②災害危険性と指定緊急避難場所の情報」が自動で表示されます。(表示まで若干のタイムラグあり/画面が一時的に乱れます)
- 住所欄の入力のみでも「②災害危険性と指定緊急避難場所の情報」を検索できます。
- 住所の入力規則は次のとおりです。

検索可能：〇〇区〇〇町〇丁目△番地□号 (全角半角区別なし)

検索可能：〇〇区〇〇町〇-△-□ (全角半角区別なし)

検索不可：〇〇区〇〇町〇の△の□

①の範囲の内容を消すことができます。(No.は自動入力されます)

①入力後、検索をクリックすると、②③の No.20~36 (次頁参照)が表示されます。

郵便番号を住所に変換できます。

対象者の新規登録

■①本人と世帯の情報

〒

No.	項目	入力欄	
1	基本情報	No.	2
2		被保険者番号	0000000000
3		生年月日	1931/1/31
4		年齢	92
5		性別	男性
6		事業所名	aaa
7		住所	〇〇区〇町1丁目xx-1
8		要介護度	3
9		(参考)要援護者登録	有
10	単身等	該当なし	
11	本人・世帯の状況	寝たきり	該当なし
12		特別な医療	なし
13		認知症(訪問・意見書で大きい方)	該当なし
14		その他特別な事情	なし
15	その他特別な事情等についてコメント		
16	居住の状況	居住階(数値入力)	2
17		自宅構造	木造
18		建物分類	戸建
19		立地(崖上か)	該当なし

生年月日は「1923/01/01」と年月日の間を/で区切って入力します。

住所入力だけで②の検索が可能です。

②を検索後、この「更新」ボタンは「登録」と表示されます。対象者管理表に登録したい場合は「登録」ボタンを押してください。また既に対象者管理表に登録されている内容を更新する場合は「更新」ボタンを押してください。

途中まで入力した内容を取り消すことができます。

②の内容を消すことができます。

キャンセル

登録

⇒ ■②災害危険性と指定緊急避難所の情報(自動) クリア

No.	項目		出力欄
20	土砂災害		なし
21	災害危険性	洪水	浸水深
22			洪水3.0m以上5.0m未満
23			河岸侵食
24			なし
25	内水	浸水深	有
26			4週間未満
27	指定緊急避難場所	居住地区内	名称
28			住所
29			直線距離
30			名称
31	最寄り1	住所	△△中学校
32			直線距離
33	最寄り2	住所	○○区△△z-z-2
34			直線距離

災害危険性は、検索する住所が**住居表示実施済の場合**は**住居番号**の災害危険性が表示されますが、**住居表示が未実施の場合**は**街区番号（○番地）**までの災害危険性が表示されます。

指定緊急避難場所の情報は、**一律街区番号（○番地）**までの情報が表示されます。

■③判定結果（自動）

No.	項目		出力欄
35	判定1	避難の必要性	退避
36	判定2	計画作成優先	A
37		度	

↑ 手動修正可能

No.39の判定を手動で修正することができます。

対象者の検索

下記の項目のどちらかを入力し、検索ボタンを押してください。

①～③の内容を消すことができます。

- 対象者管理表の入力情報を「検索」ボタンで呼び出すことができます。
- 新たなNo.で情報を追加したい場合は対象者管理表に使用されていないNo.を入力して検索ボタンをクリックします。
- 未入力の場合は、対象者管理表に示されている次のNo.に当たる値が7行目の自動入力 No.として表示されます。

被保険者番号でも検索できます。ただしこちらに入力した被保険者番号は①には反映されず、検索のみです。直接入力は①で行います。

「削除」を押すと、「入力・検索シート」、「対象者管理表」の全てのデータが削除されます。一旦、削除ボタンが消えると、次にデータを登録するまで、このボタンは表示されません。

【参考】表 管理ツールによる計画作成優先度の標準的な判定基準

判定基準			ランク	作成時期
害 で危険な区域に居住	避難の必要性…有	要介護3以上で単身等（独居、高齢者世帯、同居家族の一時的不在または日中独居）	S	令和7年度までに作成
		要介護3以上で寝たきり（障害高齢者の日常生活自立度ランクB以上）		
		要介護3以上で特別な医療を受けている（認定調査票の処置内容、特別な対応が1以上ある）		
		要介護3以上で単身等/寝たきり/特別な医療を受けている者 以外		
	低(※)	要介護3未満でも認知症で独居など	A	令和8年度以降
	要介護3以上	B		
上記以外			C	

(※) 避難の必要性「低」とは、自宅建物では居住階未満の浸水のみが想定され、自宅待機が可能であると判断される場合です。ただし、浸水継続時間が長ければ（本人・世帯の状況により基準は異なります）、優先度を上げるなど調整してください。

4.1.2 対象者管理表を使う場合

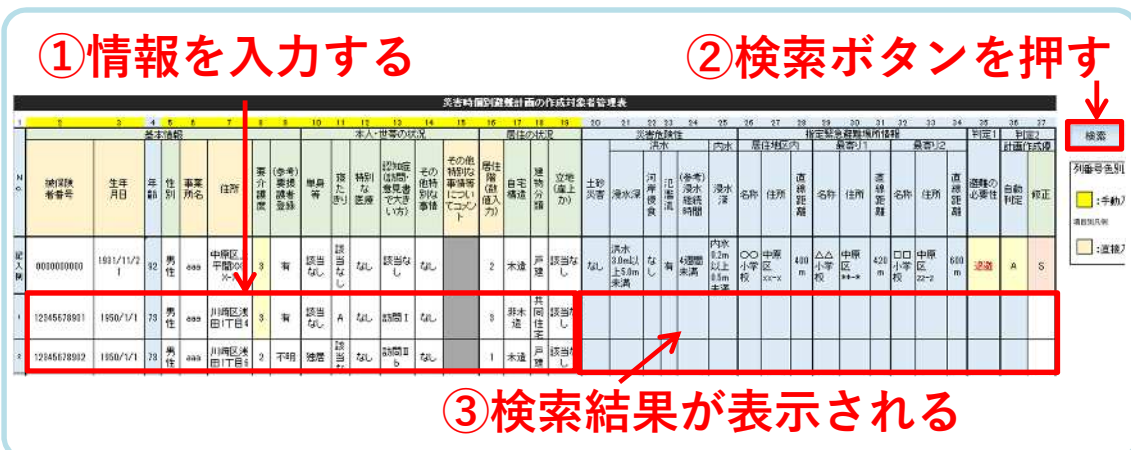
対象者管理表の概要

- 「入力・検索シート」で検索・表示し、登録することで、登録された全ての対象者の情報を、「対象者管理表」で一覧化することができます。
- 「入力・検索シート」と同様に、対象者の基礎情報を入力し検索することも可能です。「入力・検索シート」では対象者ごとにデータを表示しているのに対し、「対象者管理表」では、複数人の対象者の情報を一気に検索、表示することができます。



対象者管理表の使い方

- 対象者管理表の基本情報、本人・世帯の情報、居住の状況を入力（下図①）します。（複数の情報を入力し、検索できる点が入力・検索シートと異なる点です）
- 右上にある検索ボタン（下図②）を押します。
- 20～35列（T列～AM列）に検索結果が自動で表示されます。（表示までにタイムラグと画面の乱れがあります）



4.2 マクロブロックが解除できない場合

「3.2 (p.4)」で示したエクセルの設定変更を実行してもマクロブロックが解除されなかった場合は、次の操作により手動で検索し、対象者管理表に災害危険性や指定緊急避難場所の情報を入力します。(この場合、入力・検索シートは使いません。)

4.2.1 非表示シートの再表示

①対象者管理表のタブを右クリック

個人	属性	住所	災害危険性	指定緊急避難場所	その他
0000000000	1981/11/21	男性	0	0	0
12845678901	1956/1/1	男性	0	0	0
12345678902	1956/1/1	男性	0	0	0
12845678903	1956/1/1	男性	0	0	0



②再表示をクリック

- 挿入(I)...
- 削除(D)
- 名前の変更(R)
- 移動またはコピー(M)...
- コードの表示(V)
- シート保護の解除(P)...
- シート見出しの色(I) >
- 非表示(H)
- 再表示(U)...**
- すべてのシートを選択(S)
- このシートへのリンク(L)

2つのシートの選択がうまくいかない場合は、①、②の操作を繰り返し、1シートずつ表示させます。

- ③キーボードの「↑ shift」を押しながら
- 〇〇区_住居番号まで
- 〇〇区_街区番号までの2つのシートを選択する

④OKを押す

4.2.2 対象者情報の手動検索（住居番号までの検索）

- ① 「〇〇区_住居番号まで」のシートを表示し、A列全体を選択します。
- ② エクセルのホーム→検索と選択→検索をクリックし、右下のオプションボタンを押します。（キーボードでCtrl+Fを押しても表示されます。）
- ③ 検索する文字列で住所を入力し、検索ボタンを押します。
- ④ この際、住所は〇〇区〇〇町△丁目〇-〇（〇〇区〇〇-〇-〇という表示もあります）のように、〇番〇号の部分はハイフンで入力します。
- ⑤ 検索した住所があればそのセルまでジャンプします。
- ⑥ 該当住所の横のB列からP列まで選択しコピーします。
- ⑦ 対象者管理表の20列（T列）のセルをクリックし、その場所で右クリック→1,2,3（値貼り付け）を選択し、貼り付けます（判定1（35列（AM列）が表示される））。
- ⑧ その他必要な情報を入力し、判定2（36列（AP列））を表示させます。

① A列全体を選択

Aの位置でクリック

A	B	C	D	E	F	G	H
7	20	21	22	23	24	25	26
基本情報	災害危険性						
住所	土砂災害	洪水				内水	名称
		浸水深	河岸侵食	氾濫流	(参考)浸水継続時間	浸水深	
川崎区旭町1丁目17-10	なし	洪水0.5m以上3.0m未満	なし	なし	12時間未満	なし	旭町小学校
川崎区旭町1丁目17-11	なし	洪水0.5m以上3.0m未満	なし	なし	12時間未満	内水0.2m	旭町小学校

② ホームから検索を選択

Ctrl+Fでも表示できます

オプションを押す

③ 検索画面に住所を入力

住所を入力

〇番〇号はハイフンで
例) 3丁目2番5号→3丁目2-5

チェックをすべて外す

「次を検索」を押す

⑥ 検索住所セル右側の B 列～P 列を選択してコピー

住所	災害危険性										指定緊急避難場所情報							
	土砂災害	洪水深	洪水	氾濫	(参考)洪水継続時間	内水	名称	住所	直線距離	名称	住所	直線距離	名称	住所	直線距離			
川崎区地町1丁目13-0	なし	洪水0.5m以上3.0m未満	なし	なし	12時間未満	なし	旭野小学校	川崎区地町2-1	436m	富士見中学校	川崎区富士見2-1-1	737m	川崎区中島2-1-1	162m				
川崎区地町1丁目13-1	なし	洪水0.5m以上3.0m未満	なし	なし	12時間未満	なし	旭野小学校	川崎区地町2-1	436m	富士見中学校	川崎区富士見2-1-1	737m	川崎区中島2-1-1	162m				
川崎区地町1丁目13-2	なし	洪水0.5m以上3.0m未満	なし	なし	12時間未満	なし	旭野小学校	川崎区地町2-1	510m	富士見中学校	川崎区富士見2-1-1	736m	川崎区地町1-11	145m				
川崎区地町1丁目13-3	なし	洪水0.5m以上3.0m未満	なし	なし	24時間未満	なし	旭野小学校	川崎区地町2-1	510m	富士見中学校	川崎区富士見2-1-1	736m	富士見小学校 川崎区地町1-11	145m				
川崎区地町1丁目13-4	なし	洪水0.5m以上3.0m未満	なし	なし	12時間未満	なし	旭野小学校	川崎区地町2-1	510m	富士見中学校	川崎区富士見2-1-1	736m	富士見小学校 川崎区地町1-11	145m				

選択して右クリック→コピー

キーボードの Ctrl+C でもコピーできます

※検索住所に該当がない場合は、「〇〇区_街区番号まで」に移動します。

⑦ 対象者管理表シート (20～34 列) で値貼り付けする

災害時個別避難計画の作成対象者管理表																																				
本人・世帯の状況				居住の状況				災害危険性				指定緊急避難場所情報								判定1		判定2														
特別な医療	認知症(訪問・意見書で大きい方)	その他の特別な事情	その他の特別な事情等についてコメント	居住階(数値入力)	自宅構造	建物分類	立地(崖上か)	土砂災害	洪水深	河岸浸食	氾濫(参考)洪水継続時間	内水	名称	住所	直線距離	名称	住所	直線距離	名称	住所	直線距離	名称	住所	直線距離	避難の必要性	自動判定	修正									
なし	該当なし	なし		2	木造	戸建	該当なし	なし	洪水 3.0m以上5.0m未満	なし	有	4週間未満	内水 0.2m以上0.5m未満	〇〇小学校	中原区 xx-x	400m	△△小学校	中原区 ***	420m	□□小学校	中原区 z-z-z	600m	退避	A	S											

選択して右クリック

切り取り(E)

コピー(C)

貼り付けのオプション:

形式を選択して貼り付け(S)...

このマークを選び、値貼り付けを行う

⑧ 必要な情報を入力し、判定 2 を表示させます。

災害時個別避難計画の作成対象者管理表																																				
本人・世帯の状況				居住の状況				災害危険性				指定緊急避難場所情報								判定1		判定2														
検索済番号	生年月日	年齢	性別	事業所名	住所	要介護	(参考)要介護登録	単身等	変遷	特別な医療	認知症(訪問・意見書で大きい方)	その他の特別な事情	その他の特別な事情等についてコメント	居住階(数値入力)	自宅構造	建物分類	立地(崖上か)	土砂災害	洪水深	河岸浸食	氾濫(参考)洪水継続時間	内水	名称	住所	直線距離	名称	住所	直線距離	名称	住所	直線距離	避難の必要性	自動判定	修正		
記入例	0000000000	1991/11/21	92	男性	aaa	3			該当なし	該当なし	該当なし	なし		2	未決	戸建	該当なし	なし	洪水 0.5m以上3.0m未満	なし	有	1日未満	内水 0.2m以上0.5m未満	川崎区富田1-33	227.2m	川崎区富田1-33	111.21m	川崎区小田4-12-24	187m	川崎区小田4-12-24	187m	川崎区小田4-12-24	187m	退避	A	S

入力 (自動入力、プルダウンあり)

入力後に 36 列が表示されます。36 列の結果を 37 列では手動で修正できます。

4.2.3 対象者情報の手動検索（街区番号までの検索）

「4.2.2 対象者情報の手動検索（住居番号までの検索）」で検索した結果、**該当住所が無かった場合**、「〇〇区_街区番号まで」のシートを使用し、街区番号（〇〇区〇町△丁目〇）までの情報を検索します。

- ① 「〇〇区_街区番号まで」のシートを表示し、A列全体を選択します。
- ② エクセルのホーム→検索と選択→検索をクリックします。
- ③ 検索する文字列で住所を入力し、検索ボタンを押します。
- ④ この際、住所は〇〇区〇〇町△丁目〇（街区番号まで）と入力します。
例）川崎区大師本町 11-13 → 川崎区大師本町 11 で検索
- ⑤ 検索した住所があればそのセルまでジャンプします。
- ⑥ 該当住所の横のB列からP列まで選択しコピーします。
- ⑦ 対象者管理表の20列（T列）のセルをクリックし、その場所で右クリック→1,2,3（値貼り付け）を選択し、貼り付けます（判定1（35列（AM列）が表示される））。
- ⑧ その他必要な情報を入力し、判定2（36列（AP列））を表示させます。

⑥検索住所セル右側のB列～P列を選択してコピー

住所	洗水				P列				B列～P列				P列				
	土壌汚染	塩化水素	鉛	1.5倍の濃度を超過する鉛	塩化水素	鉛	1.5倍の濃度を超過する鉛	塩化水素	鉛	1.5倍の濃度を超過する鉛	塩化水素	鉛	1.5倍の濃度を超過する鉛	塩化水素	鉛	1.5倍の濃度を超過する鉛	
川崎区大師本町9	なし	5.0mg/L以上3.0mg/L未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
川崎区大師本町10	なし	5.0mg/L以上3.0mg/L未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
川崎区大師本町11	なし	5.0mg/L以上3.0mg/L未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
川崎区大師本町12	なし	5.0mg/L以上3.0mg/L未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
川崎区大師本町13	なし	5.0mg/L以上3.0mg/L未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
川崎区大師本町14	なし	5.0mg/L以上3.0mg/L未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
川崎区大師本町15	なし	5.0mg/L以上3.0mg/L未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
川崎区大師本町16	なし	5.0mg/L以上3.0mg/L未満	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

選択して右クリック→コピー

※街区番号で検索対象がない場合は新しい住所の可能性がります。

その場合は必要な情報を川崎市ハザードマップ（洪水・土砂災害・内水）でご確認ください。

4.3 優先度別スケジュール管理表

優先度別スケジュール管理表の概要

- 「優先度別スケジュール管理表」は、「対象者管理表」に表示された対象者の計画作成・更新状況を、優先度順に管理するためのシートです。
- 「対象者管理表」に表示された対象者の被保険者番号と計画作成優先度が、優先度順に表示されるので、各事業所において、計画作成の担当者や同意の有無、その他計画作成・更新のスケジュールを管理するために活用してください。

自動入力範囲			手動入力範囲							
No	被保険者番号	計画作成優先度	担当者	作成予定期間	計画作成の同意	情報提供（平時）の同意	当初作成年月	最終更新年月	最終更新内容	更新回数
例	0000000000	S R7年度まで	田中	R6 (2024年度)	あり	あり	2024年4月	2026年4月	転倒による骨折後、歩行困難になったため修正	1
例	0000000000	S R7年度まで	佐藤	R6 (2024年度)	なし		2024年6月	未		0
例	0000000000	S R7年度まで	鈴木	R7 (2025年度)	あり	なし	2025年4月	未		0
例	0000000000	A R8年度以降	佐藤	R8 (2026年度)						
例	0000000000	B R8年度以降	鈴木	R9 (2027年度)						
例	0000000000	C R8年度以降	田中	R10 (2028年度)						

対象者管理表に複数の対象者の情報がある場合は、計画作成優先度（S → A → B → C）の順に並びます。

優先度別スケジュール管理表の使い方

- 優先度ごとに表示される対象者について「担当者」「作成予定時期」を入力します。
- 作成予定時期になり、計画を作成したら「計画作成の同意」「情報提供（平時）の同意」「当初作成年月」を入力します。訪問・説明時に計画作成の同意が得られなかった対象者についても、同意の状況や「当初作成年月」（一部作成し、提出した場合）は記録しておきましょう。
- 計画を更新したら「最終更新年月」と「最終更新内容」、「更新回数」を入力します。

予定検討時			作成時				更新時			
No	被保険者番号	計画作成優先度	担当者	作成予定期間	計画作成の同意	情報提供（平時）の同意	当初作成年月	最終更新年月	最終更新内容	更新回数
例	0000000000	S R7年度まで	田中	R6 (2024年度)	あり	あり	2024年4月	2026年4月	転倒による骨折後、歩行困難になったため修正	1
例	0000000000	S R7年度まで	佐藤	R6 (2024年度)	なし		2024年6月	未		0
例	0000000000	S R7年度まで	鈴木	R7 (2025年度)	あり	なし	2025年4月	未		0
例	0000000000	A R8年度以降	佐藤	R8 (2026年度)						
例	0000000000	B R8年度以降	鈴木	R9 (2027年度)						
例	0000000000	C R8年度以降	田中	R10 (2028年度)						

※ A～C 列（No、被保険者番号、計画作成優先度）までは対象者管理表を参照しているため、ロックがかかっています。このシートをコピーして使用したい場合、次のようにシートのロックを解除してご利用ください。

- ① 校閲タブを押す。
- ② 「保護」の「シート保護の解除」を押す。
- ③ 再度保護をかけたい場合は、「シート保護の解除」を再度押し、そのまま OK ボタンを押す。（パスワード入力欄は空欄のまま問題ありません）



5. その他注意事項

- 管理ツールで検索した災害危険性の情報は、**川崎市ハザードマップ（洪水・土砂災害・内水）におけるご自宅の災害危険性の情報と異なる場合があります**（検索する住所が**住居表示未実施の場合、街区番号（○番地）までの代表的な場所の災害危険性が表示されるためです**）。管理ツールで検索した後、川崎市ハザードマップ（洪水・土砂災害・内水）でもご確認ください。
- 管理ツールで検索した指定緊急避難場所の情報は、一律に街区番号（○番地）までの情報で「ガイドマップかわさき」を検索した結果となっています。検索する住所が各学校区域の境界付近にある場合は、正しい指定緊急避難場所の情報ではない可能性があります（隣の境域の指定緊急避難場所の可能性あります）。「川崎市防災マップ」や「ガイドマップかわさき」でもご確認ください。
- **検索対象の住所は令和5年10月時点の住所となっています**。新しく設定された住所の場合は、管理ツールで災害危険性や指定緊急避難場所の情報を検索できませんので、「ガイドマップかわさき」や「川崎市ハザードマップ（洪水・土砂災害・内水）」をご参考に対象者管理表で情報を入力してください。
- 指定緊急避難場所が地区に複数設定されている場合は、管理ツールでは最寄りの指定緊急避難場所を先頭に表示しています。
- 管理ツールで表示される**災害危険性は令和5年10月時点の情報**となっています。